

ここでしか聞けない 西高生 本音ト〜ク

しらいし はると
白石 暖采さん
3年6組
(札幌市立北野中学校出身)
男子バスケットボール部部長

やまもと まつへい
山本 哲平さん
3年2組
(札幌市立藻岩
中学校出身)
陸上競技部部長

さとう るか
佐藤 琉花さん
2年2組
(札幌市立西野中学校出身)
現生徒会長

いとう しおり
伊藤 汐音さん
3年4組
(札幌市立琴似
中学校出身)
オーケストラ部部長

西高の魅力は？

行事への熱意だと思います。

西高には多くの行事がありますが、それら一つ一つにものすごい熱意がかけられます。特に西高祭は、当日だけでなく、準備期間もとても楽しく思い出がたくさんできます。

コロナ禍でも、できるだけ多くの行事を安全に楽しもうと、生徒会の方々が試行錯誤してくれたので、高校生活ではたくさんの行事を楽しめました。(伊藤)

西高の魅力は何といってもその「自由さ」です！まず、西高といえば私服のイメージが強いですが、西高生はみんなオシャレなので男子の僕でも私服には気を使います(笑)。また行事でも自由さが溢れています！運動会では西高名物のお弁当スペシャルがありますし、西高祭ではクラスのテーマに沿ったものを協力して作り上げていきます。西高生は一人一人様々な個性があるので、それぞれが自分の持ち味を最大限生かし全員が全力で取り組む姿はとってもカッコいいです！(山本)



白石 暖采さん

西高生はみんな、向上心が高く、個性に溢れています。その個性を最大限に生かすことができる行事や部活動が多くあることは魅力的ですね。

また、日頃から互いに励ましあって、みんなで頑張ろうといった雰囲気があり、そんな雰囲気に押されて、自分も頑張らなきゃ!!といった気持ちになることができます。時にはだらけたいこともありますが、どんな時でも一緒に頑張れる仲間

や環境があることは、とても大きな魅力だと思います。(白石)

西高の魅力はなんと言っても行事にあると思います！学祭や体育大会はもちろん、他校にはなかなか見られない運動会やハロウィンなんかも西高では楽しめちゃうんです！行事期間中は西高生は三兎を追え、の言葉通り勉強や部活も劣ることなく、行事にも全力投球している姿が印象に残っています。

西高祭ではクラス内で垂れ幕、行灯、展示の3部門に分かれて活動を行うため、自分の得意を精一杯発揮することができます！(佐藤)

高校の勉強は大変？

毎月、考査や模試、小テスト、講習など何かしらあり大変です。最初は、授業の予習復習と宿題などにしっかり取り組んで、少しずつ自主的な学習を加えていくと良いと思います。早めに自分に合った勉強スタイルを見つけるのが大切です。勉強を教える仲間や、ライバルがいるとはかどりますよ！また、先生方もサポートしてくださるので勉強でわからないことや、不安なことがあっても安心です。(伊藤)

高校の授業は進度が早く内容も深いのでついていくのが大変です！しかし、周りには勉強を頑張っている友達がたくさんいるので、朝や放課後に一緒に勉強したり互いに教えあうことでモチベーションアップに繋がります。また、先生方も素晴らしい方ばかりなので、授業での重要な箇所は必ずメモをしたり、わからないところを



佐藤 琉花さん

質問するとわかりやすく解説してくれます。このような素晴らしい環境の中で自身の学びを深めることはとても楽しいです！(山本)

1年生の頃は、単語テストや単元テストなどの小テストが多いことが大変でした。なので家から学校が遠いこともあり、通学で使う地下鉄やバスなどのすきま時間を使って勉強するように工夫しました。通学中に単語などの勉強時間を確保できるので、後々になって身になっていることを実感します。また、まわりにライバルが多く、切磋琢磨しあって勉強できる環境があるので、勉強へのモチベーションも上がります。(白石)

正直に伝えます……勉強はめちゃくちゃハードです！週に1回の英単語テストに何度苦しめられたことやら……(笑)でもそんな私たちの周りにはとても教えるのが上手い友達や、どんなに質問をしても根気強く教えてくださる先生方の存在があります！これが西高の強みだと思います。「わからない」を「わからないまま」放置するのが逆に難しい環境を周りが作ってくれるおかげで、勉強に対するモチベーションを保っているのだと感じています。(佐藤)

部活動は楽しい？

私が所属するオーケストラ部は、令和4年度に東京で行われた全国大会に出場しました。放課後は多くの生徒が部活動に励んでおり、他にも全道、全国大会に進む部がいくつもあります。西高にはたくさんの部活があるので、自分のやりたいことや、自分に合ったペースで活動できる部が見つかるはずですよ。文化部は兼部もできます！(伊藤)



伊藤 汐音さん

僕は陸上競技部に所属していました。陸上競技はほとんどが個人競技ですが、部員全員でチームの目標を決め、互いに励ましあいながら練習に取り組んでいます。日々努力を積み重ねてきたものが結果に結びつき、好記録を出した時の達成感は今でも鮮明に覚えています。このように部活でしか味わえないことがたくさんあるので、ぜひ部活動に入ることをお勧めします！(山本)

西高には数え切れないほど多くの部活動があります。種類も豊富であり、多くの部活動が兼部も可能なので、自分のやりたい部活に複数入って活動するのも楽しいと思います！！僕はバスケット



ボール部に所属していました。勉強との両立が難しく、悩んだこともありました。全力で部活に取り組んだことで、後悔もなく、やりきった気持ちで受験勉強に切り替えることができたと思います。最高の仲間と本気で取り組んだ部活動での日々は一生の思い出であり、青春でした。(白石)

西高には40を超える多種多様な部活動があります！そのなかでも私は生徒会執行委員会に属しています。生徒会と聞くと14人くらいの少人数な団体をイメージするのではないのでしょうか？実は札幌西の生徒会はひと味違うんです！なんと3学年合わせて120人を超える部員がいます！(笑)え？そんなに人数いたら仕事しない人も出てくるのでは？と感じる人もいるかもしれません。しかし全くそんなことはなく、行事は私たち生徒が主体となって進めていくため特に西高祭期間は全員がバタバタと走り回っています！(笑)その他にもたくさん西春できる部活動が西高には溢れています。自分がやりたいことをぜひ見つけてみてください！(佐藤)

西高で待っています！！

ここでは語りきれないほどの素敵な西高生活が待っています。ぜひ西高に入学して「西春」を味わってください！(伊藤)



山本 哲平さん

高校受験の時、当時の「大好き！西高」を毎日持ち歩いては勉強前に座談会のページを読んでいたもので、今回、座談会のメンバーに選ばれたときは一つ夢が叶った感じがしました(笑)。この4人の先輩のようになりたいと思ってくれたら嬉しいです。西高は皆さんのやりたいことを実現させてくれる素晴らしい学校です！その分入学するのは大変ですが、そのあとは最高に楽しい学校生活が待っています！一緒に西高で西春しましょう！(山本)

西高は色々な形の楽しさで溢れる学校です。行事や部活、郊外活動など、西高でしか味わえないことが沢山あります。自分の高校での姿を考えることで、より勉強に精が出ると思います。受験勉強は大変だと思いますが、それを乗り越えた先に密度の濃い西高ライフが待っていると思って頑張ってください！(白石)

受験勉強はしんどい、つらい、とマイナスな気持ちになりがちですが西高生となった今、受験期を思い出してみると、あのときの努力のおかげで今こんなにも西春できて！過去の自分に感謝！という気持ちでいっぱいです。受験勉強に対するモチベーションが上がらないときにはいつでもこのページに戻ってきてみなさんの思い描く理想の札幌西高を想像してみてください！札幌西高校で待ってます！(佐藤)

日本のリーディングハイスクールを目指して

～創造性・独創性を育み、 グローバル人材を育む教育活動～

本校の創立にあたって初代校長 善波 功は、北海道の小天地を目標とするのではなく、全国屈指の学校を目指していました。

現在も、その志を引き継ぎ、日本のリーディングハイスクールを目指して時代に合った様々な教育活動に取り組んでいます。



第36代校長
藤村 誠

アドミッション・ポリシー

本校は、1913年(大正2年)に北海道庁立第二札幌中学校として開校し、1950年(昭和25年)に男女共学の北海道札幌西高等学校と改称しました。来年の2023年(令和5年)には、創立111周年を迎える道内屈指の伝統校です。

校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」のもと、自由闊達な校風を受け継ぎ、視野を広げ、豊かな人間性を育む様々な教育活動を推進して、多くの優れた人材を我が国のみならず世界に輩出してきました。

本校では「深く、しっかりと学び」を実践し、幅広い教養と将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図り、持続可能な社会の構築に強い意志を持ち、リーダーシップを発揮して社会変革を担っていく人材の育成を目指した教育活動を推進しています。

【求める生徒像】

- ◆学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
- ◆旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志を持っている生徒
- ◆国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要な資質・能力を高めたい生徒

西高グローバル・エデュケーション

「グローバルな視野を育成する教育活動」の推進 ～R1年度 海外研修参加者40名

海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学を通じた国際交流を推進するなどグローバル人材の育成に取り組んでいます。



R1年 アイルランド研修



R1年 シンガポール研修

●海外セミナーの開催実績

- 駐日アイルランド大使による講演会(H29)
- 西高グローバルセミナーの開催(H28～)

●イギリス短期研修の実施(参加生徒10名)

夏期休業中に実施する研修。他校生との合同実施

●アイルランド研修の実施(参加生徒16名)

滞在10日間で、現地高校の授業体験や大学訪問、博物館・美術館等での研修実施

●シンガポール研修の実施(参加生徒12名)

7日間にわたってアジアNo.1の大学NUSキャンパスツアー、日系企業見学、語学研修を実施

●西高生国際交流の派遣実績(主な事業)

- 北海道・アルバータ州高校生交換留学事業
- JENESYS 2018 韓国研修(H30～14名)
- トビタテ留学Japan日本代表プログラム(R3～1名)
- Dot STATION Summer Tour 2018 中国(H30～1名)
- 日韓高校生交流キャンプ広島(H30～1名)
- 日本の次世代リーダー養成塾(H29～2名)
- 半年以上の海外留学等(R4～2名/マレーシア・フィンランド)
- 留学生の受入(H30～1名/スイス)
- オンラインシンガポール研修(R4～10名)

※R2～3年度は新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの事業が中止になりました。

カリキュラム・ポリシー

西高スタンダード「深く、しっかりと学び」の推進

幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図ります。また「総合的な探究の時間」との関連を図りながら教科横断的な視点で学習の深淵を極め、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成します。

「総合的な探究の時間」における探究活動

教科の枠を超えて、自分の追究したいテーマを設定して自由に「探究」していきます。令和2年度入学生より2年次に週2単位、3年次に週1単位を教育課程に位置づけ、校外への実地調査や取材、外部講師を招いてのレクチャーなど、深く思考するための時間を確保しています。



第2学年の様子(R4年度)



第3学年の様子(R4年度)



西高プログレス(ポストSSH) 「創造性・独創性を開花させる教育活動」の推進

●国際社会で活躍している方による講演会の実施

- 進路講演会:著名な大学教授の講演(R1:中央大学「AI原則とロボット法」)

●高大連携

「科学技術系人材育成プログラム」

- 札幌西高校地学巡検→留萌管内
- サイエンスキャンプ(生物)→早稲田大学
- 研究室訪問→東京大学、北海道大学等
- 科学に関する特別講義



R1年 進路講演会



北大研究室訪問
(地球惑星科学科)



科学に関する特別講義

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業で開発したプログラムなどを活用し、国際社会で通用する、高度な素養を備えた人材の育成に取り組んでいます。

●高大連携「医療系人材育成プログラム」

- 医学セミナー→札幌大と旭医大の講師による講演
- 地域医療体験活動→旭医大と連携した病院実習

●理数系コンテスト等への参加

- 科学の甲子園北海道決勝大会出場
- 物理チャレンジ&化学グランプリ
- 青少年のための科学の祭典参加

グラデュエーション・ポリシー

卒業までに次のような資質・能力を身に付けることを求めています。

【育成すべき資質・能力】

- ◆創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備えていること
- ◆多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けていること

本校では、国や道からの支援や西高の支援団体である「一般財団法人 札幌西高会」、「輔仁会」、「振興会」、「PTA・後援会」等からの支援も受けており、毎年、生徒の学習活動や諸活動(西高プログレスや海外研修等)に取り組みやすい学習環境をつくるよう努めています。西高に入学して、将来日本のみならず世界で活躍する人材となる素養を身に付けましょう。



「やれるだけやる」

絶対あきらめない!西高魂

大学合格は越えるハードルの一つ、その先の未来を描こう!

令和4年度入試【大学合格者数】

国公立大学 239名 (うち現役170名)			
北海道大学	66(46)	筑波大学	6(4)
小樽商科大学	28(22)	千葉大学	6(6)
北海道教育大学	14(11)	東京大学	1(1)
札幌医科大学(医学)	3(2)	お茶の水女子大学	2(2)
札幌医科大学(保医)	4(3)	東京工業大学	1(0)
帯広畜産大学	1(1)	東京外国語大学	1(1)
室蘭工業大学	8(6)	横浜国立大学	9(6)
旭川医科大学(医学)	1(1)	京都大学	2(1)
旭川医科大学(看護)	1(1)	大阪大学	8(6)
千歳科学技術大学	7(2)	神戸大学	4(2)
札幌市立大学	5(4)	九州大学	3(2)
弘前大学	8(6)	東京都立大学	4(4)
東北大学	5(3)	大阪公立大学	2(1)
など			
(うち国公立大学 医学科 5(3))			

私立大学 411名 (うち現役312名)			
北海学園大学	42(35)	明治大学	28(16)
藤女子大学	15(15)	青山学院大学	11(11)
北星学園大学	7(7)	立教大学	5(4)
北海道科学大学	31(23)	中央大学	31(24)
北海道医療大学	11(11)	法政大学	38(24)
天使大学	9(8)	学習院大学	2(2)
酪農学園大学	3(3)	東洋大学	10(9)
自治医科大学(医)	1(1)	日本大学	7(3)
早稲田大学	6(4)	同志社大学	13(9)
慶應義塾大学	3(3)	立命館大学	10(5)
上智大学	7(6)	関西大学	8(4)
東京理科大学	21(14)	関西学院大学	13(10)
など			



東京大学 文科1類 1年生
長内 柊斗さん(長瀬中学校出身)

「人生を楽しむ」

この言葉は僕が生きていくうえで大切にしていることです。西高は行事が多い、楽しそう、と思って来た方も多いでしょう。確かに運動会と球技大会が両方ともある学校なんて他にはほとんどなく、西高祭は近隣の人々にとっても一大行事となっています。でも僕の言う「人生を楽しむ」とはそういうことではありません。もし行事がすべてなくなったらどう思いますか?行事のない西高なんて意味がないと思う人も多いでしょう。しかし行事がなくとも充実した高校生活を送る、つまり与えられた運命において楽しむことが「人生を楽しむ」ということなのです。僕たちの高校生活はコロナの影響で様々なことが制限されていました。そんな中でも僕が充実した西春を送ることができたのは良い友達に巡り会えたからです。皆さんもできるだけ友達を大事にしてほしいです。多事に関わらず高校の友達は他では会うことのできない特別な存在です。これからの皆さんの西高生活にどんな障害が立ちふさがるかは定かではありませんが、何があったとしても「人生を楽しむ」ことを忘れずに生きてください。



北海道大学 経済学部 1年生
亀谷 風咲さん(西野中学校出身)

「自分達で創り上げる西春」

私の西高での学校生活はとても充実したものだったと今振り返ると強く感じます。そしてその充実した西春を創り上げてくれたのは、なにより周りの友達や先生方のおかげとしか言いようのないものであり、感謝の気持ちでいっぱいです。私たちの学年は、コロナの影響を強く受けた学年で、運動会や学祭、体育大会の中止、3ヶ月程にわたる長期休校、学校が始まったと思っても分散登校でなかなか友達に会えないもどかしさなど、人それぞれさまざまな苦悩がありました。しかし、多くの制約があるなかで、学校での日常生活を楽しく過ごすために、昼休みに友達と体育館で遊んだり、服を揃えて写真を撮ったり、形に残る思い出作りをしていました。西高には一緒に充実した学校生活を送ってくれる素敵な仲間がいます。そんな仲間と何事にも挑戦し、理想を目指して進み続けると良いことに繋がると私は西高で学びました。私が送った西春のように、皆さんが、最高の仲間と、最高の西高ライフを送ってほしいと思います。応援しています。



札幌医科大学 医学部医学科 1年生
齋藤 那奈さん(上樺路中学校出身)

「西春」

皆さんが高校生活に求めることはなんですか?勉強や部活を頑張りたい。行事を精一杯楽しみたい。想像していることがたくさんあると思います。西高にはそれら全てを実現できる環境が揃っています。大きな目標を掲げて努力している仲間、進路実現のために全力でサポートして下さる先生方、他の学校では経験できないようなユニークな行事、充実した高校生活を送らせること間違いなしです。私自身、卒業する時には心の底から西高を選んでよかったと思えました。また、西高にある自由というイメージ、それによって高校生活に楽しみが生まれることは間違いありません。服装や髪型が自由なだけではなく、行事などにもこの校風が表れていると思います。ただし、自由だからこそ自らを律する自制心や責任も同時に必要とされます。西高で鍛えられた自律の精神は、大学生活、その後の人生においても役に立つはずです。皆さんが西高生となり、3年間、最高の西春を過ごすことを願っています。

多彩な分野で才能を発揮!わが西高の先輩たち (敬称略)



佐藤忠良作「蒼穹」



本郷新作「鶴を抱く女」



山内杜夫作「家族」



本田明二作「けもの背負う男」



笠井誠一作「水差しとかりんとあけびのある静物」

【二中8期】

坂本 直行(画家、「六花亭」の包装紙のデザインなど)
本郷 新(彫刻家、本校所蔵「鳥を抱く女」)

【二中9期】

山内 杜夫(彫刻家、本校所蔵「家族」)

【二中14期】

佐藤 忠良(彫刻家、本校所蔵「蒼穹」)

【二中15期】

伊福部 昭(作曲家、「ゴジラ」のテーマ曲など)
船山 馨(小説家、吉川英治文学賞受賞、著書「石狩平野」など)

【二中21期】

本田 明二(彫刻家、本校所蔵「鶴を抱く女」)

【二中夜1期】

高橋 授一郎(小説家、芥川賞受賞、著書「ゆき」など)

【二中32期】

品田 雄吉(映画評論家、元多摩美術大学名誉教授)

【西高1期】

笠井 誠一(画家、本校所蔵「水差しとかりんとあけびのある静物」)
森本 正夫(経済学者、元北海道運理事長)

【西高3期】

内山 齊(元読売新聞グループ本社代表取締役社長)

【西高5期】

李 恆成(小説家、芥川賞受賞、著書「花さつ女」など)

【西高7期】

蛇川 忠輝(元トヨタ自動車副社長、元日野自動車会長)

【西高8期】

長瀬 清(元北海道医師会会長)

【西高9期】

川村 隆(元日立製作所会長・社長)

【西高10期】

大和田 榮治(数学者、元北海道医科大学学長)

【西高11期】

山内 亮史(教育社会学者、旭川大学学長)

【西高12期】

横路 孝弘(元衆議院議長、元北海道知事)

【西高13期】

新川 昭夫(元北海道医療大学学長)

【西高14期】

上出 洋介(オーロラ研究者、元名古屋大学名誉教授)

【西高15期】

三部 安紀子(声楽家、北海道二期会理事長)

【西高16期】

長沼 修(札幌一門代高取締役社長、元北海道放送社長)

【西高16期】

長沼 昭夫((株)きのと代表取締役会長)

【西高20期】

中田 昌樹(指揮者)

【西高24期】

田中 裕子(女優)

【西高26期】

成毛 翼(元日本マイクロソフト社長)

【西高28期】

有末 真哉(元三井生命(現大和生命)会長・社長)

【西高30期】

須藤 寿(北海道移住士会会長)

【西高31期】

谷村 志穂(小説家、著書「海鏡」「結婚しないかもしんない」など)

【西高34期】

水口 哲也(ゲームクリエイター、「セガラリーチャンピオンシップ」など)

「やることはやる、やれるだけやる」西高生

[めざす生徒像]

- 1.自由闊達な校風を継承し、自律的精神を身に付けた生徒
- 2.豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒
- 3.強靱な体力・気力を養い、活気ある明朗な生徒

教育課程

- 1・2年生で、英語・数学・国語の基礎・基本を確実に身に付けます。
- 3年生で、類型及び多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じたより深い学習を行います。

※科目上の目盛りは週あたりの時間数を表します。

点線囲み部分は選択教科なので、興味や進路希望に従って選択します。

1年生	2年生	3年生 文型	3年生 理型
1 現代の国語	1 論理国語	1 論理国語	1 論理国語
2 言語文化	2 公共	2 古典探究	2 古典探究
3 地理総合	3 数学Ⅱ	3 文学演習	3 歴史研究 公共研究
4 歴史総合	4 数学Ⅲ	4 政治経済 倫理 世界史探究 日本史探究 地理探究	4 地理研究 公共研究 歴史研究 公共研究
5 数学Ⅰ	5 数学Ⅲ	5 数学Ⅲ	5 数学Ⅲ
6 数学Ⅱ	6 数学Ⅲ	6 数学Ⅲ	6 数学Ⅲ
7 化学基礎	7 化学基礎	7 化学基礎	7 化学基礎
8 生物基礎	8 生物基礎	8 生物基礎	8 生物基礎
9 体育	9 体育	9 体育	9 体育
10 保健	10 保健	10 保健	10 保健
11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ	11 音楽Ⅰ
12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ	12 美術Ⅰ
13 書道Ⅰ	13 書道Ⅰ	13 書道Ⅰ	13 書道Ⅰ
14 コミュニケーション 英語Ⅰ	14 コミュニケーション 英語Ⅰ	14 コミュニケーション 英語Ⅰ	14 コミュニケーション 英語Ⅰ
15 論理・表現Ⅰ	15 論理・表現Ⅰ	15 論理・表現Ⅰ	15 論理・表現Ⅰ
16 家庭基礎	16 家庭基礎	16 家庭基礎	16 家庭基礎
17 LHR	17 LHR	17 LHR	17 LHR

※新学習指導要領にあわせ、現在検討中です

学習

[授業]

- 1年間を前期・後期に分け、月・金は6時間、火・水・木は7時間の学びの場を用意しています。
- 授業では基礎から大学入試で問われる高度な内容まで扱います。先生の話を受動的に聴くだけでなく、ペアワークやグループワークに取り組む場面もありますので、主体的かつ能動的に授業に参加することが求められます。速い進度についていくためには、授業以外の場面で自ら時間を確保し学習する習慣を身に付けてください。

[学力向上に向けて]

- 基礎・基本を確実に定着させるため、各教科では週末課題、単元テスト等を頻繁に実施しています。これらに対する日々の努力を3年間継続させることは、部活動・学校行事等にも積極的に参加しながらも、将来の夢を実現させる大きな土台となります。
- 朝の自習プリントの配布や、放課後の自習室の開放を行っています。
- 「スタディ・ニュース」を定期的に発行し、定期考査に向けての学習のアドバイス等の情報提供を行っています。

[3年間の学習指導]

- 1年生 入学してまもなく生徒には「シラバス(授業概要)」を配布。高校で学ぶ教科・科目のガイダンスを行います。3年間を見通した学習計画を1年生の段階から立てます。まずは、授業の予習・復習などの基本的な家庭学習の習慣をしっかりと身に付けます。
- 2年生 将来の進路希望に応じた、教科・科目選択授業を行います。毎日の授業を中心に、計画的な学習を進めながら、自分に合った勉強法をしっかりと身に付けます。大切なのは「知的好奇心を高めること」「自分で課題を見つけること」です。
- 3年生 進路希望に応じて文型と理型に分かれます。1・2年の時に身に付けた基礎が花開き、学ぶ喜びを最も味わえる時期です。入試のための実戦的な勉強はもちろん、時には大学レベルに踏み込んで、高度な知識の習得を目指します。

勉強の極意

[入学者選抜について]

入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。

一般入試 選抜方法 [募集人員]320名

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
- 学習点を重視した選抜 学力点:学習点= 4:6 募集人員の15%程度
- 学力点を重視した選抜 学力点:学習点=10:0 募集人員の15%程度

キャリア教育

冬休みには、弁護士事務所・病院・テレビ局・新聞社・銀行などでインターンシップを行っています。また、学問について考え、大学進学に向けてのモチベーションを上げる機会として、東大・京大などの教授を招いての進路講演会や、東大・北大等の研究室訪問も行っています。

探究活動

「総合的な探究の時間」において「探究活動」を行っています。すでに分かっていることを調べる「調べ学習」とは違い、分かっていないことを見つけ、その答えを探究する「探究活動」を通して新しいことに挑戦する力を伸ばしていきます。



講習

長期休業中の講習のほか、3週間にわたり土曜日に実施される「土曜講習」、平日の放課後と土曜日とで実施される「期間講習」があります。1年生では英・数・国の3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民も実施し、実践力を養成するための体制を整えています。

模試

全国レベルで自分の実力を確かめます。結果を細かく分析したデータをもとにした、各教科からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路目標を明確にしていきます。

日課表

登校	～ 8:25	昼休み	12:30～13:10
SHR	8:25～ 8:35	5校時	13:10～14:00
1校時	8:40～ 9:30	6校時	14:10～15:00
2校時	9:40～10:30	7校時	15:10～16:00
3校時	10:40～11:30	SHR	16:00～16:10
4校時	11:40～12:30		

- 月・金は6時間授業
- HR活動(LHR)は火の7校時

	1年	2年	3年
4月	課題確認テスト 進路希望調査	課題確認テスト 進路希望調査	模試 共通テスト対策模試・記述対策模試・大学別模試・小論文模試など、毎月1～2回のペースで実施しています。
5月	進路希望調査	進路別ガイダンス	
6月	科目選択	文理選択 定期考査	模試 期間講習
7月		夏期講習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期×4日間)	
8月	課題確認テスト		期間講習 進路希望調査
9月	土曜講習	定期考査 土曜講習	土曜講習
10月	模試 進路希望調査	模試 進路希望調査	実力テスト
11月		期間講習 定期考査	受験校調査 期間講習
12月	土曜講習	土曜講習	期間講習
1月	冬期講習(前期)5日間 冬期講習(後期)5日間 インターンシップ 課題確認テスト 模試		共通テスト 入試本番!
2月		期間講習 定期考査	私立大学 国公立大2次
3月	土曜講習 春期講習4日間	土曜講習	

熱中できるものがあるから、西高生活は何倍も楽しい!



女子バスケットボール

部員は少ないですが、学年関係なく意見を出し合いながら全員が主体的に取り組んでいます。全道大会出場を目標にチーム一丸となって頑張っています。西高で私たちと一緒にバスケットしましょう!

- 21 高体連札幌支部予選ベスト16
- 21 選手権大会2回戦進出
- 21 新人戦予選リーグ3位
- 22 春季大会決勝トーナメント進出
- 22 高体連札幌支部予選ベスト16

クローズアップ
2022



バスケットボール

- [男子]
- 19 高校新人札幌地区予選6位、全道大会出場(ベスト16)
 - 19 高体連札幌支部予選5位、全道大会出場(ベスト16)
 - 19 札幌地区春季大会5位

バレーボール

- [男子]
- 18 高体連決勝トーナメント進出
 - 19 高体連予選グループ戦敗退
 - 20 新人戦第3位、全道大会出場
 - 21 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16)
 - 22 高体連予選グループ戦敗退
- [女子]
- 18 高体連決勝トーナメント進出
 - 19 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16)
 - 21 高体連決勝トーナメント進出(ベスト16)
 - 22 高体連決勝トーナメント進出

卓球

- 「道内公立高校最強の卓球部」を合い言葉に日々の練習に励んでいます。学習と部活動の両方に頑張りたい人、もちろん初心者も大歓迎です!
- 19 北海道卓球選手権大会出場(ジュニアの部3名)
 - 北海道高等学校選抜卓球大会出場(個人戦シングルス4名)
 - 北海道高等学校選抜卓球大会出場(女子団体、男子個人戦シングルス1名)
 - 21 国民体育大会卓球競技北海道予選大会出場(女子1名)
 - インターハイ北海道予選(高体連全道)学校対抗戦出場(男女とも)
 - 北海道高等学校選抜卓球大会出場(女子団体)

バドミントン

- [男子]
- 17 春季団体戦西ブロック2部優勝、1部昇格
 - 18 高体連札幌支部個人戦シングルスベスト16
 - 19 秋季団体戦西ブロック3部昇格、決勝トーナメント進出
 - 21 秋季個人戦(1年生大会)個人戦シングルス優勝
- [女子]
- 18 春季団体戦西ブロック3部昇格
 - 19 春季団体戦西ブロック2部昇格
 - 秋季個人戦(1年生大会)個人戦シングルスベスト16(2名)
 - 21 秋季個人戦(1年生大会)個人戦ダブルス準優勝

ソフトテニス

- 21 高体連男子ダブルス全道大会出場
高体連新人戦男子団体全道大会出場(女子部員決定戦3位)
- 高体連新人戦男子ダブルス全道大会出場
- 22 高体連男子団体戦支部6位、全道大会出場

サッカー

- 「強豪校にも負けない、誰からも応援されるチーム」を目標に日々練習に励んでいます。本気でサッカーを愛する、やる気のある人を歓迎します。一緒に喜びを目標しましょう!
- 19 高校サッカー選手権大会札幌地区予選Aブロック準優勝
 - 21 高校サッカー選手権大会札幌地区予選Aブロック準優勝
 - 札幌地区高校ユース(U-17)選手権Bブロック準優勝
 - 高円宮杯U-18札幌ブロックリーグ2部昇格

山岳

- 12 マレーシアのキナバリ山(4095m)へ遠征
- 14~18 全道登山選手権大会参加(男女とも)
- 19 全道登山選手権大会参加(男女とも)
- 22 高体連支部大会第4位
- 17 難陀山(新潟)
- 18 弥彦山(新潟)
- 19 道内登山大会

ハンドボール

- 男子ハンドボール部が2016年念願のインターハイ出場を果たし、それに続くとう男女後輩たちも日々頑張っています。現在の部員は96%素人集団です。「チーム西高」で充実した高校生活を送りましょう。

テニス

- [男子]
- 18 高体連全道大会団体戦3位
個人戦シングルス3位、個人戦ダブルス優勝、準優勝(全道大会出場)
 - 19 高体連全道大会個人戦シングルス3位(全道大会出場)
 - 20 新人戦全道大会団体戦ベスト8
 - 21 高体連全道大会団体戦個人戦ベスト16
新人戦全道大会団体戦ベスト8、個人戦ダブルスベスト16
 - 22 高体連支部大会団体戦7位、個人戦ダブルス3位
高体連全道大会個人戦ダブルスベスト8
- [女子]
- 18 新人戦全道大会団体戦3位(全道大会出場)、個人戦ダブルス3位
 - 19 高体連全道大会団体戦個人戦ベスト16
新人戦全道大会団体戦個人戦ベスト16
 - 21 高体連全道大会団体戦ベスト16、個人戦ベスト16、シングルス5位(全道大会出場)
 - 22 高体連全道大会団体戦ベスト16、個人戦シングルス3位(全道大会出場)、ダブルス3位

野球

主体的な活動で野球の「技術、戦術」はもちろん、道路実現に向け様々な力が身につくよう努力しています。

スキー

- 10~12 インターハイ出場(クロカン・アルペン)
- 14 全日本スキー選手権大会出場(モーグル)
- 15 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)
- 16 インターハイ出場(アルペン)
- 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)

剣道

- 技術を上達させることも大事ですが、礼儀や挨拶をしっかりと身につけられることが何より大事だと考え、日々練習に打ち込んでいます。現在3年生は男子1人、2年生も男子1人、1年生は男子2人、女子1人の合計7人で活動しています。高校から始める生徒も多い部活動です。
- 19 新人戦全道大会男子団体出場
 - 21 新人戦全道大会女子団体出場

弓道

- 18 高体連全道大会男子団体ベスト8、男子個人3位
- 19 高体連支部大会男子個人8位、全道大会出場
- 19 新人戦支部大会女子個人3位、11位、全道大会出場
- 20 新人戦支部大会男子個人11位、全道大会出場
- 20 新人戦支部大会女子個人8位、全道大会出場
- 21 高体連支部大会男子個人5位、8位、全道大会出場
- 21 新人戦南北道大会男子個人決勝進出

水泳

- 練習については基本的に各自が通うスイミングスクールで行っています。2020年度は各種大会が中止になってしまいましたが、2018~19年度は個人種目でインターハイ出場も達成しています。もし興味があれば是非一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

陸上競技

- 令和4年全道高校陸上競技大会において2名がインターハイ出場を果たしました。西高女子陸上競技部員が全道優勝したのは昭和39年以来です。全道大会出場者は昨年より倍増、1600mリレーでも男女とも準決勝に進出し、勢いのあるチームです!和やかな雰囲気の中で楽しく活動し、心が強くなる練習をしています!
- 22 全道高校陸上競技選手権大会
女子400mH優勝、女子7種競技優勝



クローズアップ
2022

生徒会執行委員会

西高の伝統である運動会や西高祭などの企画・運営を行っています。本校の校訓「自由・自律・敬愛・創造」を生徒が実践できるように行事を企画し、準備においてもこの校訓が実践できるように活動しています。

オーケストラ

- 入学式、卒業式、西高祭、コンサートホールキタラでの定期演奏会、地域のコンサートに加え、高文連大会において、今年は全国縦文祭出場の年です。部員一同張り切って練習に励んでいます。
- 21 全道高等学校音楽発表大会出場(岩見沢大会)
 - 22 全国高等学校総合文化祭出場(東京縦文祭2022)

図書局

- 図書の見出し・返却業務はもちろんのこと、図書の展示方法の工夫、図書情報「Our Library」の編集・発行、西高祭伝統の古本市開催などを行っています。
- 19 高文連全道高校図書研究大会(札幌)参加

新聞局

- 【札幌西高新聞】を編集・発行します。北海道で初めて高校生新聞の印刷版を発行した、歴史と伝統のある新聞局です。生徒の「知る権利」を代行して報道し、学校の歴史と生徒の活動を記録し、学校をよりよくするための問題提起や提案を心がけています。
- 21 全道高等学校新聞研究大会(十勝)参加

化学

- それぞれが自分の研究テーマを持ち、自分のペースで自由に研究を行っています。化学実験が好きなら誰でも歓迎します。楽しみながら自らを高めていきましょう。
- 18 高文連全道大会総合賞、優秀ポスター賞
 - 19 高文連全道大会総合賞、奨励賞2件
日本化学会北海道支部奨励賞、日本学生科学賞優秀新聞社賞
 - 20 高文連全道大会ポスター賞
 - 21 高文連全道大会奨励賞2件、ポスター賞

邦楽

- 華、三絃、尺八など、和楽器による合奏を楽しむことが活動の中心です。通3回、精仁会館で活動しています。日本の伝統文化を通じた国際交流などにも力を入れています。部員の全員が初心者、楽器も部で用意しますから、誰でも安心して入部できます。

華道

- いけば花池坊を部活動指導員の方から教えていただきます。毎週1回、季節を感じ、心を花に託して表現する楽しさを味わいます。希望者はお伏拝を取付することもできます。

写真

最近では、デジタル写真中心で活動中です。学校行事や普段の高校生活を撮影し高文連写真展、学生写真展、写真甲子園などに応募するのが主な活動です。西高祭ではフォトスタジオにも挑戦しました。

合唱

- 音楽を愛し心を磨くことに、自分たちの好きな曲をアカペラにアレンジして歌っています。新入生歓迎会と西高祭、クリスマスコンサートでの発表の他、定期的にアトリウムコンサートを行ったりしています。

書道

- 高文連石狩支部大会・全道大会と全道学校書道展、北海道学生書道展の三つの書道展に出品する臨書作品の制作を中心に活動しています。
- 20 高文連全道大会(Web)参加

物理研究

- 部員たちで相談をして研究テーマを決め、実験装置や実験方法も自分たちで考えて活動をしています。現在は「ダウンバースト」「光の収束効果」を扱っています。
- 18 第42回全国高等学校総合文化祭(西州文化祭2018)出場
 - 20 応用物理学北海道支部優秀講演賞
第18回日本物理学会Jセッション(全国大会)出場
 - 21 第17回日本物理学会Jセッション(全国大会)出場

文芸

- 「言葉をつむぐ、言葉でつなぐ」そんな活動をしています。
- 19 高文連全道大会部誌部門最優秀賞(全国へ)、俳句部門優秀賞2名、優良賞1名
 - 20 高文連全道大会小説部門優秀賞1名、俳句部門最優秀賞1名(全国推薦)、優秀賞1名
第23回全国俳句選手権(俳句甲子園)全国大会出場
 - 21 高文連全道大会短歌部門優秀賞1名(全国へ)、小説部門優秀賞1名、評論・随筆部門優秀賞1名

演劇

- 表に出るのが好きな人も、裏方が好きな人も、みんな一丸となって楽しくオリジナルの舞台を作っています!
- 19 「ニシハル」
高文連石狩支部大会優良賞、創作脚本奨励賞
 - 20 「偶然のアイ」
高文連石狩支部大会優秀賞、創作脚本奨励賞、最優秀生徒演習委員
 - 21 「一才先は」
高文連石狩支部大会最優秀賞、創作脚本奨励賞、全道大会奨励賞

軽音楽

西高祭での演奏や精仁会館などでライブ活動を行っています。

放送局

- 朝の校内放送や各種学校行事での放送機器の設置・運用、映像コンテンツの制作等の日常活動の他、NHKコンテストや高文連等の各種大会にも積極的に参加しています。
- 15~22 NHK放送コンテスト高文連全道大会出場
 - 15 NHKコンテスト(朗読部門)出場
 - 17 NHKコンテスト(朗読部門)準決勝進出(朗読部門)出場
 - 19 高文連全道大会CM部門準優勝
 - 21 NHK地区大会テレビドラマ部門優秀賞、北海道映像コンテスト2021北海道総合通信局児童6学生部門(高等学校の部)最優秀賞、全道賞グランプリ2021学生部門優秀賞
 - 22 NHK地区大会5部門全道大会進出
(テレビドラマ部門第3位、テレビドキュメント部門第4位、朗読アナウンスラジオドラマ部門)
 - 「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞
 - Nコン全道大会3部門全道大会進出
(朗読アナウンステレビドキュメント)

美術

- 平面(油彩、水彩、イラスト他)、立体(彫刻、工芸他)など、各自の興味関心に合った制作をしています。
- 15~18 全国高等学校総合文化祭参加
 - 18~20 高文連全道大会、U21道内入選、優秀賞、奨励賞
 - 21 高文連全道大会、U21道内入選、優秀賞、奨励賞

鉄道研究

- 合宿と野外活動を年に数回行い、道内外の様々な路線に乗り込んでいます。学校祭では鉄道模型ジオラマを展示しNゲージ車両を走行させます。
- 18 札幌への3日3夜、東京の3日3夜、鉄道模型コンテスト2018参加
 - 19 「秘境駅」小規模の日常活動
 - 20 虎杖浜・中富良野への日常活動
 - 21 室蘭・登別への日常活動

囲碁・将棋

- 現在の西高囲碁将棋部は全道大会に進出する生徒がいて、活況にあふれています。すごしても興味をもったなら、是非3階第三部室まで足を運んでください。特に女子は3人揃えば全道大会もすぐそこです。先輩部員が親切丁寧に指導してくれますよ!
- 19 全道将棋選手権大会(札幌)男子団体戦優勝(佐賀県)
 - 全道囲碁選手権大会(函館)男子個人戦準優勝、3年連続全道大会出場!
 - 21 全道将棋選手権大会(札幌)男子団体戦準優勝
全道将棋新人大会(札幌)男子個人戦準優勝(道高県)
 - 22 全道将棋選手権大会(札幌)男子団体戦優勝(東京都)

マンガイラスト

- 主な活動は校内での部誌の配布と展示です。冊子などの挿絵の依頼にも応えています。
- 22 全道高等学校漫画選手権大会(まんが甲子園)全道大会出場(高知県)

茶道

- 講師の先生の指導のもと、お点前のお稽古をしています。西高祭のお茶会には大勢のお客様が来てくださり、長蛇の列ができる人気ぶりです。本格的なお茶室も、一見の価値あり。卒業までには裏千家の初級の手帳がいただけます。

Dance同好会

- 踊りの創作活動を通して、リズムカルに動ける体作りを目指し、表現性・感受性を磨き、社会性・協調性を養うことを理念としています。平日は週1回ペース、西高祭前は連日ハードに練習。例年、新入生歓迎会のステージ発表や西高祭オープニングステージ発表・有志発表に出演しています。

映画研究同好会

- 映画鑑賞後、その映画についての批評を行うことが活動の中心です。

何事も「やるときはやる」それが西高生

新入生 オリエンテーション
歓迎会
生徒会執行委員会や部活動の先輩が、ユニークな企画で盛り上げます。



運動会



西高祭

パワーがみなぎるビッグイベント。楽しむときは思いっきり楽しむのが西高流。



入学式 新入生を歓迎するのは、オーケストラ部の荘厳なハレルヤ演奏。感動!



炊事遠足

様々なメニューが登場!先生方のバーベキューも大人気。

October

定期考査Ⅱ



**海外研修
報告会**

September

August

定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。「やるときはやる」の西高実行精神をまずここで発揮しよう。

July

体育大会



前期の最後を締めくくると大会。部活動を引退した3年生も久しぶりに燃えます。



校舎中央のアトリウムでは各部活動によるパフォーマンス(通称「アトバ」)も。

December



クリスマスには、アトリウムでミニコンサートが開催されます。

見学旅行(2年)

東京・京都・奈良をめぐる4泊5日の旅。忘れられない思い出になるはず。

定期考査Ⅲ

November

March

定期考査Ⅳ

卒業式

式が終わる直前にかかる、卒業生の「ちょっと待った!」コールも恒例。優れた生徒には「善波賞」。笑いあり涙ありの卒業式。



節分

かつては授業中の教室に、突然3年生が乱入して豆やお菓子をまいた、謎の伝統行事。ここ数年はアトリウムに鬼が出没!



海外研修

長期休業中には海外研修を実施。アイルランドやシンガポールでホームステイやプレゼンテーション。



西高創世記 二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学(旧一中、現札幌南高)だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、子弟の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年(1912年)、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年(1912年)に、第二札幌中学(本校)と札幌中学(現札幌南高)が、1つの学校のようにまとめられて入学選抜が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

また、昭和25年(1950年)に、道立札幌第二高校(本校)と札幌第一高校(現札幌南高)、道立女子高(現札幌北高)、市立女子高(現札幌東高)の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。

西高はいつも本道を代表するモダン校舎

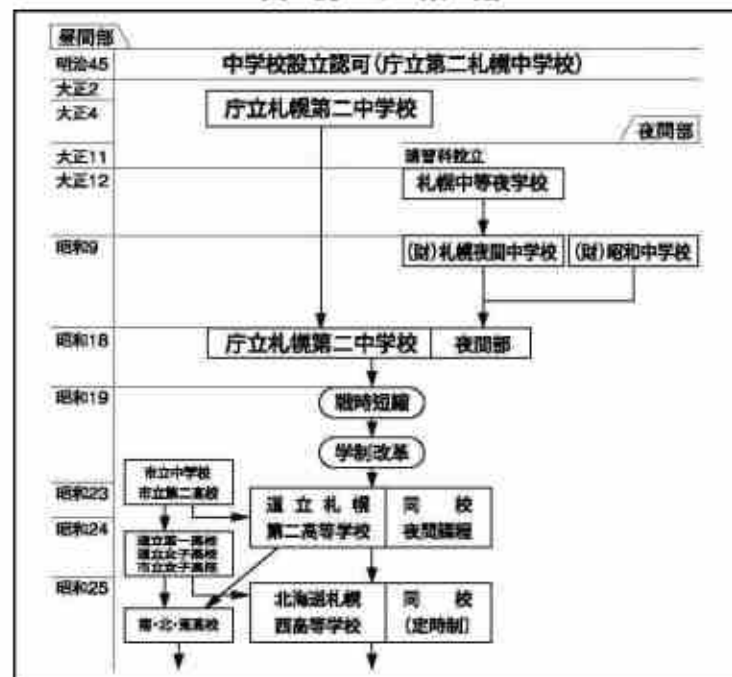
初代校舎は、大正2年(1913年)に北3条西18・19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年(1962年)に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗式トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



西高の系譜



たった3ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年(1960年)に出火した。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、1年の女生徒2人が、焼け跡を呆然として歩いているとき、小さなチョークを見付け拾った。一人が、黒ずんだ廊下の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ほんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくなったなあ」と言っていたのを思い出し、迷わず「消えず!」と続けた。「たった3ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではどこの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等女学校(現札幌北高)の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中生徒は礼儀正しく身だしなみがよかったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



■校訓

「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「自律」とは、その自由を支える精神
「観望」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「創造」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。



■西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これは「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。



西高を支援する5つの組織

①西高PTA・②西高後援会

PTAは生徒の学校、家庭、社会生活の改善と向上を目的に、保護者と職員により組織。後援会は西高の保護者と賛助会員による組織。いずれも教育活動の充実に寄与しています。

④一般財団法人 札幌西高会

西高の卒業生とPTAの役員らが、理事や評議員を務める西高会。育英奨学金をはじめ、海外研修補助や学校花壇整備、皆勤賞記念品など教育活動への支援をしています。

③輔仁会(ほじんかい)

卒業生等在学した者と、名誉会員の教職員で組織する同窓会です。会員のネットワーク構築と、西高の発展に寄与することを目的としています。

⑤西高振興会(西高サポーターズクラブ)

PTA、西高卒業生の有志による組織。「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料を現役西高生の部活動等の助成にあてています。